



コミュニティ政策学会

# コミュニティ政策学会

Japan Association for Community Policy

## Newsletter No.10

(2006.2.1)

## 第5回大会(7月1日、2日)は、 帝塚山大学(奈良県)で開催と決定しました

去る2005年12月23日、京都駅前にある龍谷大学サテライトオフィスにて常任理事会が開催され、席上、第5回(2006年度)大会を帝塚山大学(奈良県生駒市、近鉄奈良線「学園前」下車)にて開催することを決定しました。

会期は、例年にならって2006年7月1日(土)、2日(日)の両日とし、第1日は、はじめに学会総会を開催、そのあと基調講演のほかシンポジウムなどが開催され、第2日には分科会が開催される予定です。また第2日の午後には、オプション・ツアーが企画される予定です。具体的な企画内容については、改めてご案内いたします。

## 第5回シンポジウムを開催します

常任理事会では、第5回シンポジウム企画についても検討されました。これを受けて研究調整委員会で検討の結果、第5回シンポジウムを3月11日(土)午後、岐阜市で開催することとなりました。シンポジウムのテーマは「都市内分権とコミュニティ政策—コミュニティの再生が国をかえる—」とし、開催の内容は以下の通りです。当日、シンポジウム開会に先立って、理事会が開催される予定です。

開催に当たっては、岐阜観光コンベンション協会からの支援を受けることになっております。年度末の時期ですが、どうぞ多数お誘い合わせの上おいでください。

### コミュニティ政策学会 第5回シンポジウム

## 「都市内分権とコミュニティ政策」 —コミュニティの再生が国をかえる—

日 時：2006年3月11日(土) 13時30分～16時45分

会 場：岐阜市文化センター(2階小劇場)

(岐阜市金町5丁目7番地2 TEL 058-262-6200 JR岐阜駅より徒歩約10分)

基調講演：細江 茂光(岐阜市長、国のかたちとコミュニティを考える市長の会)

シンポジスト：鈴木 寛(参議院議員、民主党コミュニティソリューション提唱者)

細江 茂光(岐阜市長、国のかたちとコミュニティを考える市長の会)

土屋 候保(神奈川県大和市市長)

石田 芳弘(犬山市市長、コミュニティ政策学会副会長)

コーディネーター：山崎 仁朗(岐阜大学地域学部助教授)

会 費：会員 無料(資料代1,000円)、一般 2,000円(資料代含む)

主 催：コミュニティ政策学会、後 援：岐阜市、ぎふまちづくりセンター

# コミュニティ政策学会第4回大会の報告

2005年7月2・3日 八戸市(青森県)



今年度のコミュニティ政策学会第4回大会は、青森県八戸市との共催で、7月2・3日(土・日)の両日、八戸グランドホテルで開催された。大会統一テーマは「地方分権の潮流と自治的コミュニティの創造」である。同時に「八戸市協働のまちづくり条例制定記念シンポジウム」として、会場は八戸市のご厚意でご提供いただいた。全国からの参加者は会員で約70名、これに加えて八戸市民有志が参加した会場はなかなかの盛況であった。

第1日目は大会に先立ち午前中に理事会(議事録別添)が開催され、午後1時から大広間で第4回総会が開催された。総会は山口理事の司会ではじまり、中田会長、大河原隆八戸市助役(市長の代理)の開会挨拶があって、井岡理事を議長に選出、議事が進められた。先ず事務局、研究企画委員会、編集委員会、各研究プロジェクトからそれぞれの経過報告があり、引き続き審議に入った。先ず、事務局からの2004年度会計決算報告の後、山田監査役から監査報告があった。2005年度事業計画として研究企画委員会、編集委員会から説明があった後、2005年度会計予算案が提出され、別段異議なく提案通り承認され総会は終了した。

休憩の後、大会第1日目は名和田是彦氏(法政大学教授、本会理事)による「日本型都市内分権の特徴とコミュニティ政策の新たな課題」と題する基調講演で始まった。名和田氏は講演の中で、日本における分権の動向が公共サービスの確保にあるに対して、ドイツでの分権が住民自治の推進にあるとして、都市内分権のあり方に課題を投げた。

基調講演の後、「地方分権改革の潮流と自治的コミュニティの創造」をテーマとするシンポジウムに移った。佐藤信雄氏(仙台市)、桜井誠一氏(神戸市)、前山総一郎氏(八戸大)、石田芳弘氏(犬山市長、副会長)の4氏が壇上に上り、広原副会長が司会を担当した。

第1日目の議論を終えて、夕刻から懇親会が開かれた。テーブルには八戸の海産物、イカ刺しやホヤ、イチゴ汁などの珍味が並んだ。無事第一日目を終えて、参加者は三々五々、八戸のまちに繰り出したとか。

2日目は各部屋に分かれて、4つの分科会が開かれた。第1分科会「自治基本条例による自律と協働のまちづくり」、第2分科会「市町村合併と地域内分権の現段階」、第3分科会自由論題部会、第4特別分科会「講座形式」の4分科会はいずれも多く参加者で、報告と熱心な討論が交わされていた。討論の内容と成果は、学会の機関誌「コミュニティ政策④」(東信堂)に纏められ、市販(会員には無料配布)される予定である。



# コミュニティ政策学会 第7回理事会 議事録

日時 2005年7月2日(土) 午前10時30分～正12時

場所 八戸グランドホテル(八戸市) 会議室

出席者 中田實、石田芳弘、広原盛明、安藤周治、井岡勉、小林武則、鈴木誠、田中義岳、中西晴史、名和田是彦、松岡紘一、山口祐子、山崎丈夫、吉原直樹、高橋博久(事務局)

議長 中田 實

## 議事 【審議事項】

【報告事項】もあわせて進められた。

### 第1号議案 入会者の承認

第6回理事会(2005年3月に高山市で開催)以降の入会申し込み者一般会員5名、学生会員4名の名簿が事務局から紹介され、全員異議なく承認された。この間の退会者は一般会員5名であり、本会の会勢は一般会員189名、学生会員18名、団体会員18団体を擁する規模となった。

第2号議案 2004年度会計決算、同監査報告の承認  
事務局担当理事から決算報告(案)の説明があり、合わせて監査報告があった。前年度指摘されていた会費納入率の向上については、過年度会費の徴収事務を鋭意進め問題解決に努めたと報告があった。支出の部で、シンポジウムの開催費について予算額との差が大きいとの指摘があり、3月に高山市で開催した第4回シンポジウムについては事前の宣伝を行なったものの開催地、開催時期とのかかわりもあって会員の参加がいまひとつ見込みより少なく、予想を越えた支出になったと説明があった。また、調査(プロジェクト補助)費について支出額が予算より少ないことに質問があり、これは各研究プロジェクト委員会からの要請に応じて支出しているとの説明があり、その他異議なく決算報告は承認された。

### 第3号議案 2005年度事業計画の承認

中田会長から、2005年度の大会は、本日と明日の両日(7月2日・3日)、八戸市で開催する段取りとなったことが紹介された。2月に予定しているシンポジウムについては後日検討することとして、例年通りの事業を行なうこととして、承認された。

### 第4号議案 2005年度会計予算案の承認

続いて事務局担当理事から予算案について、支出の部に、①前回大会で承認された会員拡大、宣伝のための「しおり」3000部とA4封筒の印刷代金を雑費に加えたこと、②シンポジウム企画等について担当している研究企画委員の活動補助費と、③機関誌編集を担当している編集委員の活動補助費の項を新たに組み込んだ、ほかは前年度を踏襲しているとの提案説明があった。今大会の開催にあたっては、開催地である八戸市から市民研修の機会として位置づけ、会場費の支援を頂いている事についても紹介があり、学会と地元自治体とのこうした交流関係は相互に意義あることであるとの意見があった。その他別段異議なく、予算案は承認された。

### 第5号議案 第5回大会に向けての検討事項

①機関誌『コミュニティ政策③』編集について、編集委員長中川理事欠席のため田中理事から説明があった。投稿論文が3編あり、いずれも査読を行なったうえ、大会開催時に会員に配布できるよう準備を進めてきた。今回は紙数が多く235頁、単価2400円となった。前年の2割増となり財政的にはこれが限界であり、編集上工夫が必要であるとの説明があった。

②このあと研究プロジェクト委員会の活動状況の説明があった。第1プロジェクト『近隣政府』と地域分権について名和田委員から、委員間でメーリングリストによる意見交換を行なっていること、プレーメン(ドイツ)から研究者が来日する機会をとらえシンポジウムを組めないか検討中であるとの紹介があった。これは科研費での企画であると紹介された。第2プロジェクト「町内会・NPO・コミュニティ」は、担当理事欠席のため説明はなかった。第3プロジェクト「わが国のコミュニティ政策の総括」について山崎理事から、新潟県柏崎市に調査に出掛け、モデルコミュニティについてのヒアリングを一応終えた。現在その取りまとめに入っており、調査結果は次年度大会に発表するべく準備を進めるとの説明があった。中田会長から、今年度でⅡ期4年目となるので、次年度大会に向けて新たな研究プロジェクトへの検討を進めていただきたいとの意向が示された。

続けて、④中田会長から第Ⅲ期の役員、理事等の選任方法について検討を進めたいとの表明があった。この件は、プロジェクトの見直しについても関連があり、重要案件であるので次年度大会に向けて検討を進めることとなった。

### 第6号議案 役員の一部交代について

中田会長から、木村茂樹理事が退職(高知県)されたため肩書きを変更する旨が伝えられた。

### 第7号議案 第5回大会の開催地について

次年度の大会開催地としては、柏崎市(新潟県)の他、新潟市、札幌市、福岡市、浜松市あるいは奈良県、帝塚山大学などの名が挙げたが、決定できなかった。会員の中からももう少し交通の便のよいところでありたいとの意見もあり、大学と連携のとりやすい開催地の選択、地元との共同開催の可能性、戦略的には遠隔地であることも意味がある、などの意見が交された。

その他案件として、吉原理事から、コミュニティ活動や自治体も対象とした学会賞を設定できないかとの提案があった。

## 国際セミナーを開催しました

第1プロジェクト研究委員会は、2005年9月6日（火）、国際シンポジウム「ドイツ・ブレーメン市の住民参加と協働」を法政大学市ヶ谷キャンパスにて開催した。ドイツ・ブレーメン州から招いた3名の地域評議会関連の事務担当者（次官級を含む）による講演があった。コミュニティ政策学会と法政大学現代法研究所との共催で開催した。

### 新入会員

個人会員	所属等	推薦人	分類
角之上 知樹	鹿児島大学大学院人文社会科学部 博士後期課程	菊池美代志	学生
檜原 真二	北九州市立大学法学部政策科学科	高橋博久	一般
谷 亮治	立命館大学大学院社会学研究科	深川光曜	学生
長谷部 英司	札幌市市民まちづくり局地振興部振興課	田中義岳	一般
石原 慎士	八戸大学ビジネス学部	前山総一郎	一般
伊藤 嘉高	東北大学大学院文学研究科	吉原 直樹	学生
浅井 タヅ子	岐阜経済大学 院生	鈴木 誠	学生
安嶋 是晴	金沢大学経済学部 地域経済情報センター	碓山 洋	一般
黒田 一光	岐阜県コミュニティ診断士	鈴木 誠	一般

### 退会会員

個人会員	所属等	分類
伊藤 允人	岐阜経済大学研究課	一般
坂本 忠次	関西福祉大学	一般
古田 正人	津島市役所市長公室人事課	一般
谷口 茂	愛知淑徳大学	一般
後藤 秀爾	愛知淑徳大学コミュニケーション学部	一般

事務局からのお願い：学会事務局では、会員名簿の管理を行っています。大会やシンポジウムの開催案内をはじめ、出版物の送付を行い、会費の管理を行う上でも確かな名簿は欠かせません。住所変更や勤務先異動があった場合は、事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。学生会員の方は卒業、修了とともに個人会員となります。年度変わり目間近になってきました。変更のある場合は、どうぞ一報ください。事務局へのご連絡はe-mailが便利です。

### コミュニティ政策学会 Newsletter No.10

愛知学泉大学 コミュニティ政策研究所内 〒471-8532 愛知県豊田市大池町汐取1

Tel:0565-35-7031 Fax:0565-35-7020

e-mail:a-compol@gakusen.ac.jp <http://www.gakusen.ac.jp/commu/a-compol/>

発行日 2006年2月1日 編集 事務局 高橋、丹羽